

第83号

平成28年8月31日 発行

茶業会議所広報

発行所

(公社)静岡県茶業会議所

静岡市葵区北番町81番地

電話〈054〉271-5271(代)

FAX〈054〉252-0331

http://shizuoka-cha.com/

「水出し緑茶元年!!」

昨年11月、第69回全国お茶まつり静岡大会を開催され、健康機能や飲みやすさの特徴を活かし、消費者ニーズに応え一年中いつでも飲める水出し緑茶にスポットをあて、樺村日本茶業中央会会長(静岡県茶業会議所会頭)より、リーフ茶の消費拡大に向け「水出し緑茶元年」を宣言した。

第69回 全国お茶まつり



平成27年11月14日 「水出し緑茶元年」を宣言し、静岡市産の水出し緑茶で乾杯する。

「水出し緑茶元年」にもとづき、平成28年1月に開催された県内の商工団体等の新春祝賀会や賀詞交歓会において水出し緑茶をPRしました。

平成28年度も引き続き、業界をあげて「水出し緑茶」をPRする活動を進めています。



全国茶商工業協同組合連合会が作成したポスター

世界お茶まつり2016開催!!

平成28年10月27日(木)~30日(日)において、静岡市グランシップにて、「世界お茶まつり2016秋の祭典」が開催されます。主なプログラムは、以下のとおりですが、詳細は、ホームページをご覧下さい。

<http://www.ocha-festival.jp/2016/>

世界のお茶を学ぶ

- ※フランスのお茶文化を学ぶ
- ※建築家・藤森照信氏が茶室を語る
- ※喫茶樂塾
- ※茶の愉しみ~時空を超えて~
- ※世界緑茶コンテスト
- ※世界緑茶会議
- ※O-Cha学術セミナー

世界のお茶を体験する

- ※世界大茶会
- ※富士山大茶会
- ※音楽とのコラボレーション
- ※「茶柱俱楽部」の世界を愉しむ

飲んで、食べて、買って愉しむ

- ※ワールドO-Chaメッセ
- ※お茶とスイーツを愉しむ銘茶カフェ
- ※ティスティング・フェスティバル
- ※お茶で世界と繋がる「チャドコロピクニック」



平成27年度事業報告

茶業会議所が行う各種事業の費用は、皆様が負担されている茶業振興費で賄われています。

「和産和消」の普及推進

静岡茶新茶郵便発送式

おもてなしのこころ気持ちとともに静岡茶を贈る新茶郵便のPRをするために、県内茶産地の茶娘や幼稚園児による発送式を実施した。



平成27年4月30日 静岡県庁本館前

人が集まる場所での静岡茶PR

S A・P A等人が集まる場所での静岡茶PRを実施した。



平成28年2月13日(土)、14日(日)、3月12日(土)、13日(日) 新東名高速道路NEOPASA駿河湾沼津



平成28年2月18日(木)、19日(金) 東京都大田区 静岡県テクノフェア2015 in 東京

メディア等を活用した静岡茶のPR

S B SラジオとK-MIXの番組において、新茶キャンペーン、冷茶キャンペーンを実施したほか、テレビ静岡「ガールズパーティー」のスポンサーとなり、番組セット等に緑茶を取り入れてもらい静岡茶の露出を図った。

また、静岡新聞社、S B Sが主催するオトナハクへ協賛し「水出し緑茶」をPRしたほか、静岡新聞朝刊全見カラー特集号に「水出し緑茶」の紹介記事を掲載した。



TV番組のセット

茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

「新版 茶の機能」から、日本茶の機能性を紹介する英語版の冊子「Scientific Evidence for the Health Benefits of Green Tea」を平成27年9月発刊し、海外におけるイベント等において活用した。



茶の効能等のPR

消費地である大都市を中心に、茶効能等に関するシンポジウムを静岡市及び名古屋市において3回開催した。



平成27年11月15日 静岡市



平成27年12月4日 名古屋市



平成28年3月14日 静岡市

◆平成28年度予算◆

平成28年度の茶業振興費については、下記のとおりです。

1 茶業振興費の徴収

茶業振興費の徴収方法は、従価制とし、茶業会議所・会員及び茶業会議所が徴収を委託した株静岡茶市場が徴収する。

2 茶業振興費の負担額

(1) 生産割 売り手（生産者）が負担し、徴収者に預ける。

粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.1%

(2) 宣伝割 売り手（生産者）、買い手がそれぞれ負担し、徴収者に預ける。

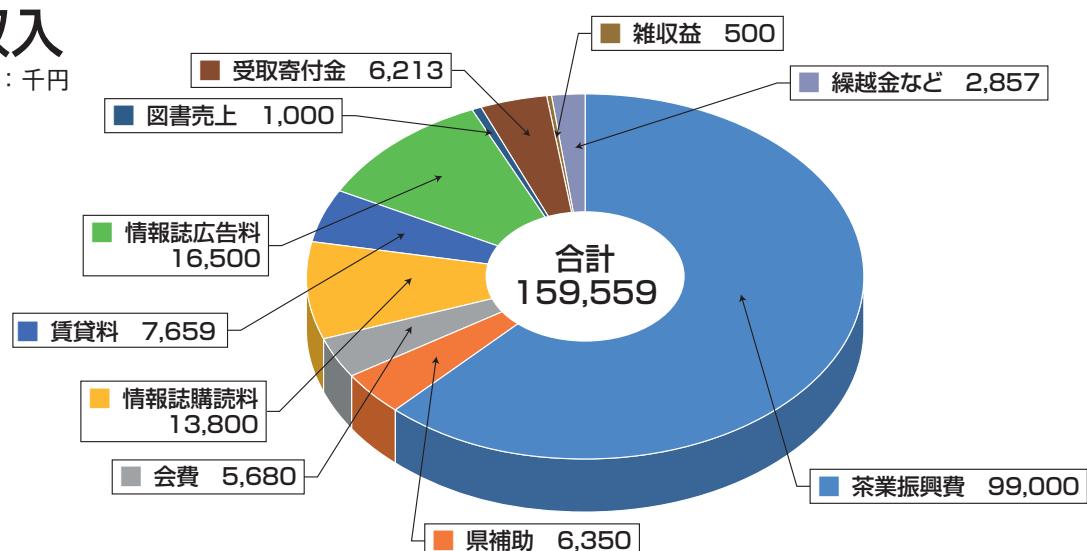
売り手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

買い手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

皆様の茶業振興費は、このように使われます。

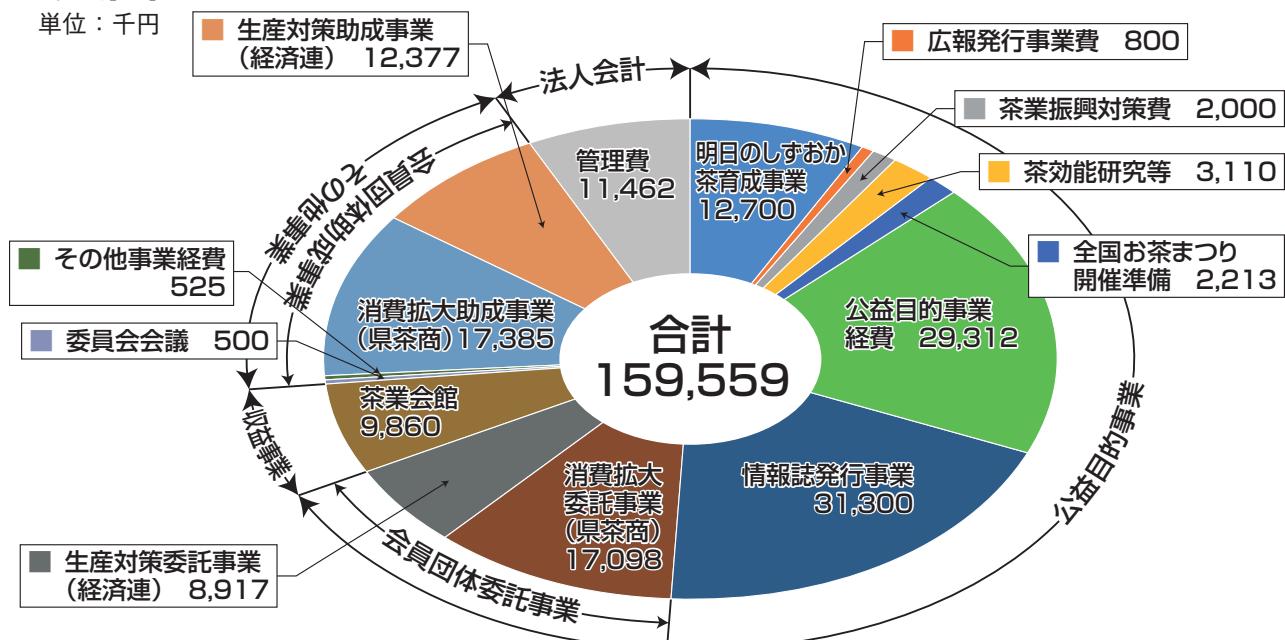
収入

単位：千円



支出

単位：千円



平成28年度事業計画

1 明日のしづおか茶育成事業

(1) しづおか茶安心づくり事業

ア 茶の生産・製造工程管理の推進

静岡茶の信頼と信用を一層強固なものとし、消費者からの支持を獲得するべく、T-GAP、T-GMP等の茶生産・製造工程管理の推進を図る。

イ 静岡茶衛生管理者の普及

茶の生産と製造に関わる者の食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を推進するべく、茶の衛生管理に関するリーダーとなる人材を育成する。

ウ 安全・安心にかかる広報資料の作成

緑茶の表示基準等の制度改正を茶業者等に周知する広報資料を作成する。

(2) しづおか茶ファン創出事業

ア 緑茶人間運動の展開（新規）

静岡茶を年間2kg、1日6g、1日6杯を愛飲する緑茶人間運動を展開し、お茶好き、健康長寿な静岡茶ファンを確保する。

（ア）集客が見込まれる場所での静岡茶PRイベントの実施

（イ）各種団体が主催するイベントでの呈茶

（ウ）PRグッズの作成

イ メディア等を活用した静岡茶のPR

テレビ、ラジオ、新聞等各種メディアを活用し、オシャレで新しい静岡茶を情報発信し、需要層の拡大を図る。4月～5月（新茶）、7月～8月（冷茶）、11月～12月（贈答）3月（新茶前）に番組等への協賛を実施する。

ウ パンフレットの発行

静岡茶の産地、製造法、歴史、効能機能性、安全性などを説明するパンフレット等を作成し、配布する。

(3) しづおか茶販路開拓事業

ア 茶の効能等のPR

日本を、日本人を元気にするため、茶学術研究会と協働で、茶の効能を広報し、嗜好飲料としてだけでなく、生態調節機能を有する保健飲料としてPRし、静岡茶の更なる消費の拡大と理解に努める。

・シンポジウムの開催

・講演会の開催

イ 茶業界に活を入れ明快な展望を開くアイデア・戦略リスト

（ア）若手茶業経営者会議の設置

茶業界の将来を担う若手経営者による静岡茶振興方策を検討し、取りまとめる。

・検討会の開催

・構想の策定

（イ）四季の国民大茶会の検討

・検討会の開催

・国民大茶会企画案の策定

（ウ）静岡茶生産流通文化大会（仮称）の開催

県、茶議連、茶業界で振興策を具体化して、大会で決定する。

・大会推進検討会の開催

ウ グローバルな視点に立った静岡茶のPR

訪日客を中心とした外国人に静岡茶をPRし、国際的なブランド化を進める。

・外国人向けPRグッズの作成

・空港等外国人が多く集まる場所でのPRの実施

エ 大消費地における静岡茶のPR

消費地茶商、異業種業界等と連携し、全国的な静岡茶愛飲運動を展開する。

・東京キャンペーン 6月、11月

・東北キャンペーン 11月

・酒造組合等との協働 10月

2 茶業振興事業

(1) 広報・情報収集、発信事業

本会が実施している事業の告知のため、広報誌を発行する。

(2) 茶業振興対策事業

茶業功績者表彰、県内各地で開催される各種茶業大会、品

評会等への表彰状・副賞の交付を行い、茶業の振興に資する。

(3) 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

ア 茶の効能研究

県大茶学総合研究センターにおける調査研究及び人材育成を行うため、奨学寄附を行う。

イ 「新版 茶の機能」の普及推進

平成25年11月に発刊した「新版 茶の機能」を関係者で、総学習し販売力強化に活かすため、消費者にクチコミ一斉運動を実施する。

また、執筆者によるセミナーや講演会を開催し、茶の機能・効能をPRする。

ウ 茶の効能研究発表

平成28年10月27日から開催される世界お茶まつり「秋の祭典」期間中、茶学術研究会と共同で、茶の機能性などに関する研究発表会を開催する。

(4) 情報誌・茶業図書の発行事業

ア 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努める。

イ 茶業関連図書の発行と販売について

引き続き「茶生産の最新技術（製造編）」「新・目で見る茶の病害虫」をはじめとした茶業関連図書の販売に努める。

(5) 委託事業

ア 静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を図るとともに、消費地専門店と連携してより効果的宣伝活動を実施するため、静岡県茶商工業協同組合へ委託事業として実施する。

イ 生産対策委託事業（県経済連へ委託）

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大、全国茶品評会の開催など特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに、安全・安心な茶づくりをすすめ、静岡茶ブランド力の強化を図るため、静岡県経済農業協同組合連合会へ委託して事業を実施する。

3 収益事業

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図る。

4 その他の事業

(1) 委員会等開催費

財務委員会・事業委員会及び事務連絡会等を開催し、諸振興策を検討し、団体間の連絡調整を図る。

(2) 会員団体助成事業

ア 静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、教育の推進等に関する施策を積極的に推進するため、静岡県茶商工業協同組合へ助成事業を実施する。

イ 生産対策助成事業（県経済連へ助成）

国内外の消費者に、安全・安心な静岡茶を供給するための栽培・製造指導及び、技術指導者・後継者の各種研修会を開催します。併せて本県茶業を維持・発展していくため、地域におけるリーダーを育成、国内外にて、静岡茶の販売力強化を図るため、県内各産地のPRに努め、また静岡茶ファンの獲得等推進するため、静岡県経済農業協同組合連合会へ助成事業を実施する。

5 その他関連事業

(1) 日本茶輸出促進協議会事業

(2) 静岡茶消費拡大緊急推進協議会

(3) 新品種・新技術活用型産地育成支援事業

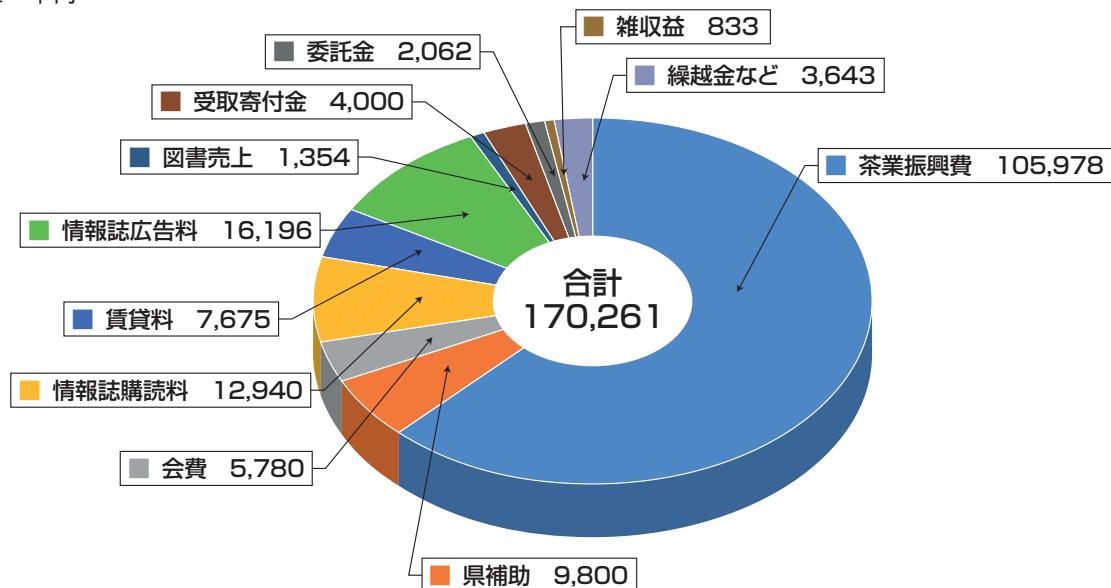
◆平成27年度決算◆

平成27年度事業につきましては、平成28年6月23日(木)に開催した総会において承認されました。

皆様の茶業振興費は、このように使われました。

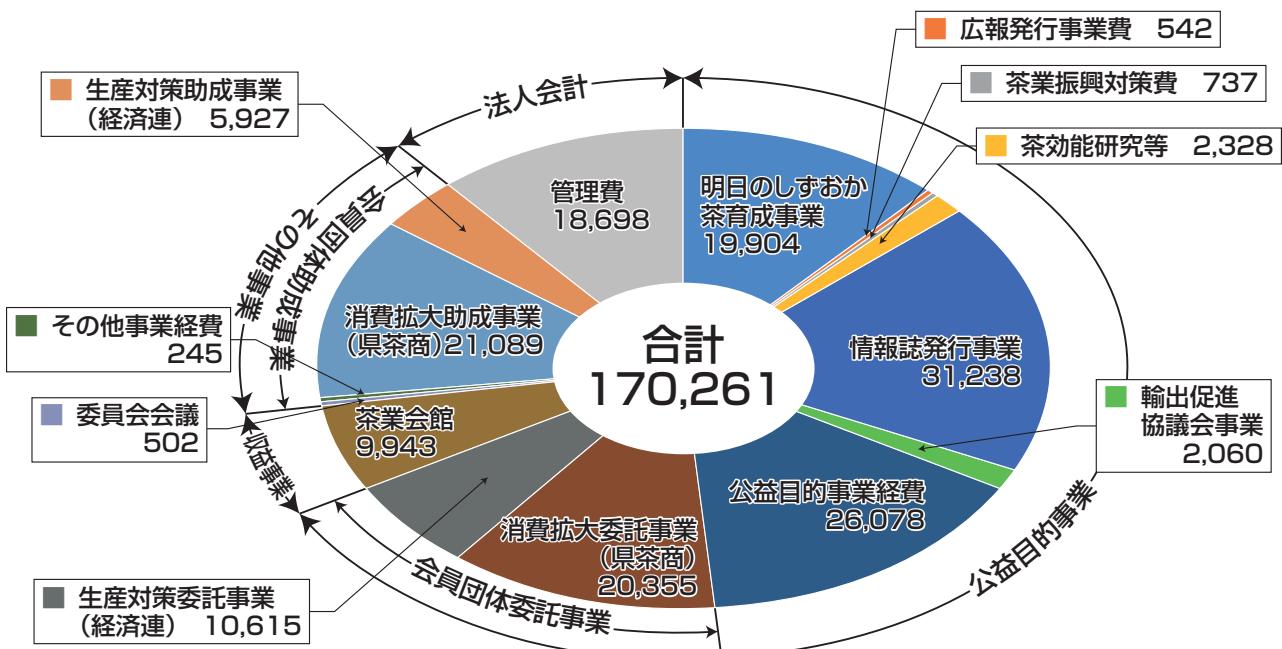
収入

単位：千円



支出

単位：千円



平成27年度事業報告

1 明日のしづおか茶育成事業

(1) しづおか茶安心づくり事業

ア 茶の生産・製造工程管理の推進

クリーンかつ安全で安心な静岡茶を提供するため、T-GAPの普及推進、静岡茶衛生管理者の養成と普及を図った。

イ 静岡茶衛生管理者の普及

クリーンかつ安心で安全な静岡茶を提供するため、茶の生産と製造に関わる者の食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着するべく、茶の衛生管理に関する養成講座と認定試験を実施し、衛生管理者の養成と普及を図った。また、現在「静岡茶衛生管理者」の資格を有する者に対し、スキルアップのための研修会の開催やメールマガジンによるサポートを行った。

(2) しづおか茶ファン創出事業

ア 「こどもおちゃ学ぶ」講座の開催

県内小学生を中心とした幅広い消費者に対して、静岡県のお茶の歴史や生産、効能等の幅広い学習や美味しいお茶の淹れ方学ぶ出前講座を69校で実施した。

イ 「和産和消」の普及推進

おもてなしのこころ気持ちとともに静岡茶を贈る新茶郵便のPRをするために幼稚園児による発送式を実施した。S.A.P.A.等人が集まる場所での静岡茶PRを実施した。県内の商工団体等の新春祝賀会や賀詞交歓会において水出し緑茶をPRした。

ウ パンフレットの発行

英語、韓国語、中国語版をリニューアルし、イタリア語を新たに作成した。静岡茶を紹介する「お茶のしづおか」、「わくわくお茶のたんけん隊」を発行した。

エ メディア等を活用した静岡茶のPR

本県の茶に関する産業・文化・学術など静岡茶ブランドの強化を図るために、メディア等を活用した静岡茶のPRを実施した。

(3) しづおか茶販路開拓事業

ア 茶の効能等のPR

日本を、日本人を元気にするため、茶学術研究会と協働で、茶の効能を広報し、嗜好飲料としてだけでなく、生態調節機能を有する保健飲料としてPRするため、消費地である大都市を中心に、茶効能等に関する情報発信を行ない、お茶を身近に感じ理解を深めてもらうため努めた。

イ 消費地茶商等や異業種業界と協働によるPR

大阪府茶業協同組合、新潟県茶商の会、東京都茶協同組合、静岡県酒造組合、が実施するイベントと連携し、静岡茶PRした。このほか、静岡県テクノフェア2015 in 東京や茶業関連商品および機器展示会への出展し、呈茶、ミニセミナー、試飲会等を実施した。

ウ 静岡茶ブランドのグローバル化

イタリアミラノ国際博覧会において、(公社)日本茶業中央会が実施する日本館イベント広場において、大勢の来場者を対象に、静岡茶の魅力を伝えるPRイベントを実施した。また、増加傾向である訪日旅行者に向けて静岡茶の魅力や県内茶産地等の認知を図るために、富士山静岡空港ターミナル内においてPRを実施した。

2 茶業振興事業

(1) 広報・情報収集、発信事業

ホームページを随時更新し、本会の活動状況を報告した。

(2) 茶業振興対策事業

茶業功績者表彰、県内各地で開催される各種茶業大会、品評会等への表彰状・副賞の交付を行った。

(3) 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

ア 茶の効能研究

県大茶学総合研究センターにおける調査研究及び人材育成を行うため、奨学寄附を行った。

イ 「新版 茶の機能」英語版

日本茶の機能性を紹介する冊子「Scientific Evidence for the Health Benefits of Green Tea」として平成27年9月発刊し、海外におけるイベント等において活用した。

(4) 情報誌・茶業図書の発行事業

ア 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶

業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努めた。

イ 茶業関連図書の発行と販売について

製造技術を熟知している研究者のプロの技（基本技術）を一冊の本に纏め、「茶生産の最新技術（製造編）」を発行した。

(5) 委託事業

ア 静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るために、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を図るとともに、消費地専門店と連携してより効果的宣伝活動を実施するため、静岡県茶商工業協同組合へ委託事業として実施した。

イ 生産対策委託事業（県経済連へ委託）

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大、全国茶品評会の開催など特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに、安全・安心な茶づくりをすすめ、静岡茶ブランドの強化を図るために、静岡県経済農業協同組合連合会へ委託して事業を実施した。

ウ 輸出に取組む事業者向け対策事業

日本茶輸出促進協議会から輸出用茶生産体制整備事業の委託を受け、輸出先国農薬基準による茶栽培実証圃の設置を実施した。日本茶の輸出拡大を積極的に促進するため、現在輸出に取り組まれている茶業者からさまざまな課題をあぶりだし解決と方向性を論点整理して、茶業界として在るべき長期的な輸出体制の仕組みを取りまとめるため「世界における日本緑茶の輸出拡大対策会議」を開催した。

3 収益事業

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図った。

4 その他の事業

(1) 委員会等開催費

財務委員会・事業委員会及び事務連絡会等を開催し、諸振興策を検討し、団体間の連絡調整を図った。

(2) 会員団体助成事業

ア 静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）

近年の生活様式の多様化等により、急須で飲む喫茶習慣に代表される食文化は急速に失われつつあり、行政・生産の団体と協力・連携しながら、静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等に関する施策を積極的に推進した。

イ 生産対策助成事業（県経済連へ助成）

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備による改植の推進、品種茶の生産拡大等、特色ある茶の生産を積極的に進め、指導者の育成・確保、安全・安心な茶づくりの推進により、静岡茶ブランドの確立を図った。

5 その他関連事業

(1) 全国お茶まつりの開催

全国の生産・商工業者や一般消費者に対して、「おしゃれに楽しむお茶の新しいカタチ～しづおかO-CHAコレクション～」をキヤッチャフレーズに様々な取組等を紹介し、静岡茶の魅力を積極的にアピールするとともに、今回の全国お茶まつりは、健康機能や飲みやすさの特徴を活かし、消費者ニーズに応え一年中いつでも飲める「水出し緑茶」にスポットをあて、行政、茶業界を挙げて実施した。

(2) 静岡茶消費拡大緊急推進協議会

静岡茶の需要創出と消費拡大を主旨とし、県内の茶業関係団体が、緊密な連携の下に、オール静岡の体制で県内外において販売促進事業を実施した。

(3) 新品種・新技術活用型産地育成支援事業

コンソーシアムによる「強み」のある産地を育成するため、新品種等の新技術等を活用し、生産・商工・行政が一体となって産地形成を図るために、引き続き、香り高い静岡の緑茶推進協議会において、本県が開発した香り緑茶及び新品種の生産拡大及びブランド化に取り組んだ。

生産対策委託事業（県経済連へ委託）

消費者ニーズに対応した良質茶の生産・基盤整備・改植の推進、特色ある茶の生産を積極的に進めるとともに優秀な指導者の育成確保、安全・安心な茶づくりの推進、静岡茶ブランドの確立を図るため務めています。



GAP資格取得研修会



てん茶評価



技術員全体研修会



会議室



協同製茶代表者研修会



総合茶園地共進会



茶園防除研修会



地域茶業の後継者育成研修会



茶輸出事業事務局会議



農協茶業者集会

静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶処静岡のPRに務め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進、リーフ茶需要を喚起するための需要開拓を図っています。



お茶の入れ方教室



各種イベントにいる消費宣伝事業（静岡茶普及キャンペーン）

このほか、組合所属の地区組合においても消費宣伝事業も行っています。

消費地茶商等や異業種業界との静岡茶PR

消費地茶商等や異業種業界と協働で国内外等のイベント等に出展し、静岡茶のPRを通して、静岡茶の販路強化・拡大とファン発掘を行った。



平成27年9月6日 地酒まつり



平成28年2月13日・14日 茶業関連商品及び機器展示会



静岡茶ブランドのグローバル化

イタリアで開催したミラノ国際博覧会において、(公社)日本茶業中央会が出展する日本館イベント広場において、大勢の来場者を対象に、静岡茶の魅力を伝えるPRイベントを実施した。



平成27年9月27日(日) ミラノ国際博覧会

このほか、増加傾向である訪日旅行者に向けて静岡茶の魅力や県内茶産地等の認知を図るため、富士山静岡空港ターミナル内においてPRを実施した。

全国お茶まつり静岡大会の開催

平成27年11月14日(土)において、静岡市民文化会館にて大会式典が開催され、14日(土)、15日(日)青葉シンボルロード、静岡茶市場他にて消費拡大イベントを実施した。



平成27年11月14日(土) 大会式典



平成27年11月14日(土)、15日(日) 消費拡大イベント

平成28年度杉山賞の表彰

杉山彦三郎翁顕彰会は、平成28年5月2日(土)駿府公園マロニエ広場において、慰靈式と功績者の表彰を行なった。杉山賞の受賞者は次のとおりです。

- ・茶業振興功労賞
山下 譲 (67)
山下太市 (67)
秋山 勇 (87)
- ・茶品種改良・普及功績賞
望月和男 (60)



平成28年度茶業功績者の表彰

本県茶業の発展向上に顕著な功績のあった者や集団を表彰し、茶業の振興に資することを目的とする功績者の表彰を平成28年6月23日(木)に行なった。受賞者は次のとおりです。

- 竹内正司 (77)
- 増田剛巳 (63)
- 深澤貞博 (60)
- 長瀬 隆 (60)

